

A：達成できた B：概ね達成できた C：やや達成できなかった D：達成できなかった

学校教育目標	重点目標(中期目標)	今年度の重点	総合評価(最終)
たくましく かしこい子どもの育成	深く考え取り組む子ども(知) ⇒ かんがえよう 思いやりのある子ども(徳) ⇒ つながろう 健康でがんばりのきく子ども(体) ⇒ やりぬこう	合い言葉 「さあ、つながろう！！」 互いに認め合える、居心地のよい学校づくり	・互いに認め合える、居心地のよい学校づくりを職員が意識して取り組むことができた。学習では、気軽に意見を聞き合うためにペアやグループでの場を設定したり、個々の得意なことを活かせるグループ編成にしたり、子どもたちの主体的な学びにつながる授業づくりに取り組むことができた。 ・今年導入されたロイロノートについて授業の中でどのように使えるか、職員間で研修したり情報を共有したりすることで、活用が進んだ。 ・地域との連携や地域素材を生かした学習が今後の課題であると感じられる。今後、地域の素材や人材を発掘・共有していく。

分野	評価項目	評価の観点	評価				評価
			A	B	C	D	
教育活動	学級経営 誰一人取り残すことのない、安心感のある学校づくりを目指して～「予測困難な時代」を、共にたくましく生き抜く子どもたちを育てるために～	どの子に対しても個別最適な学びの方法と学びの場を考え、子どもたちの個性を最大限に引き出し、主体的な学びを支援することができたか。		○			○意識して取り組むことができた。 ○安心して生活できるように、生活ルール・手順の明確化を行い、学習ではグループやペアで気軽に意見を聞き合える場を設定するようにした。 ○子どもたち一人ひとりが活躍できるよう、話すことが得意な人、器具の組み立てが得意な人、段取りが手早くできる人、友だちにわかりやすく説明できる人など、得意な分野が生かせるよう、班の構成や配置を工夫した。 ○道徳の時間に自分のよさを見つめる機会を取ったり、友だちからよさを書いてもらう時間を取ったりした。また、学級の係でクラスのために活躍できる場を設けることができた。 ○どの子も安心して過ごせる学級にすることを考え、その中で学びの方法や学びの場を必要に応じて保護者と連絡を取り合いながら進めた。 ▲個に応じた学習・生活環境を整えることに重点を置いて支援してきたが、できた部分と、時間的に難しい部分とがあり、今後の課題も残った。 ⇒誰一人取り残すことのない、安心感のある学校づくりを職員が意識して取り組むことができた。また、学習の形態を工夫したり、友だちのよさに気づけるような場の設定をしたり具体的な支援を行うことができた。
	教育課程 地域と連携した教育課程づくり	地域の素材・人材の参画を図った活動ができたか。		○			○ICTはタイピングに取り組み、大いに活用することができた。 ○地域との連携は、本校にある歴史資料館を活用して歴史教室を開催することができた。 ○米作りでは、地域の方に教えていただきながら進めることができた。 ○タブレットも学習内容や状況に合わせて活用することができた。 ○ICT支援員の先生に入って教えていただきながら、タブレットの操作の仕方やIDの入れ方等、子どもたちが一人でも使うことができるようになった。 ○学習支援にICTを活用することができ、ほぼ毎日タブレットを使用できた。 ○産川での川の学習、岩石の学習など、地域素材に触れる機会を増やし、地域に親しめるようにした。 ▲地域の素材や人材の参画を図った活動をさらに充実させていきたい。 ⇒教育課程については中間報告より評価が上がった。米作りや理科、歴史資料館の活用など学年や教科によるが、地域の方や地域の素材に関わる学習を設定できた。さらに、地域の素材や人材の参画を図るために情報を共有していく。
	教育課程 タブレットやICT機器の活用	タブレットやICT機器を活用した授業づくりに取り組むことができたか。		○			○ICTはタイピングに取り組み、大いに活用することができた。 ○地域との連携は、本校にある歴史資料館を活用して歴史教室を開催することができた。 ○米作りでは、地域の方に教えていただきながら進めることができた。 ○タブレットも学習内容や状況に合わせて活用することができた。 ○ICT支援員の先生に入って教えていただきながら、タブレットの操作の仕方やIDの入れ方等、子どもたちが一人でも使うことができるようになった。 ○学習支援にICTを活用することができ、ほぼ毎日タブレットを使用できた。 ○産川での川の学習、岩石の学習など、地域素材に触れる機会を増やし、地域に親しめるようにした。 ▲地域の素材や人材の参画を図った活動をさらに充実させていきたい。 ⇒教育課程については中間報告より評価が上がった。米作りや理科、歴史資料館の活用など学年や教科によるが、地域の方や地域の素材に関わる学習を設定できた。さらに、地域の素材や人材の参画を図るために情報を共有していく。
	かんがえよう 最後まで話を聞く	発表者の考えをしっかりと聞き取るために、視線を向け、静かに聞くように指導や支援をすることができたか。		○			○予想を言葉にする場面を多く設定した。生活経験などを活かし、予想の元となる根拠を書いたり発表させたりした。友だちの話を聞いて意見が揺れたり、自分の考えを改めてしっかりと言語化したりして、自分なりにイメージを膨らませる様子が多く見られた。 ○一人ひとりが自分の考えがもてるように時間をとることを意識した。 ○友だちと考えを共有する場面を取り入れるようにしてきた。友だちと一緒に考えることで考えの幅を広げたり、深めたりすることができた。 ○最後まで話を聞くことを大切にして日々の生活や授業を行ってきた。学習の振り返りを終末場面に位置付けるようにしていたが、毎回はずれず、終えてしまうこともあった。 ▲自分の考えを書くということがなかなかできなかった。授業の中で振り返りの時間を確保することが課題である。 ⇒自分の考えを言語化することや友だちの考えに触れ、自分の考えを広げたりする学習を意識して設定することができた。授業の振り返りの時間の確保が課題である。来年度は、「わかる・できる」を実感できる授業づくりのためにふりかえり位置づけ研究していく。
つながげ	かんがえよう 自分の考えをもち、書く	わかったこと・気がついたこと・思ったことを書く時間を確保できたか。		○			○予想を言葉にする場面を多く設定した。生活経験などを活かし、予想の元となる根拠を書いたり発表させたりした。友だちの話を聞いて意見が揺れたり、自分の考えを改めてしっかりと言語化したりして、自分なりにイメージを膨らませる様子が多く見られた。 ○一人ひとりが自分の考えがもてるように時間をとることを意識した。 ○友だちと考えを共有する場面を取り入れるようにしてきた。友だちと一緒に考えることで考えの幅を広げたり、深めたりすることができた。 ○最後まで話を聞くことを大切にして日々の生活や授業を行ってきた。学習の振り返りを終末場面に位置付けるようにしていたが、毎回はずれず、終えてしまうこともあった。 ▲自分の考えを書くということがなかなかできなかった。授業の中で振り返りの時間を確保することが課題である。 ⇒自分の考えを言語化することや友だちの考えに触れ、自分の考えを広げたりする学習を意識して設定することができた。授業の振り返りの時間の確保が課題である。来年度は、「わかる・できる」を実感できる授業づくりのためにふりかえり位置づけ研究していく。
	かんがえよう 進んで伝え合う(発表・表現)	子どもたちが意見を出し合う時間を確保していたか。		○			○予想を言葉にする場面を多く設定した。生活経験などを活かし、予想の元となる根拠を書いたり発表させたりした。友だちの話を聞いて意見が揺れたり、自分の考えを改めてしっかりと言語化したりして、自分なりにイメージを膨らませる様子が多く見られた。 ○一人ひとりが自分の考えがもてるように時間をとることを意識した。 ○友だちと考えを共有する場面を取り入れるようにしてきた。友だちと一緒に考えることで考えの幅を広げたり、深めたりすることができた。 ○最後まで話を聞くことを大切にして日々の生活や授業を行ってきた。学習の振り返りを終末場面に位置付けるようにしていたが、毎回はずれず、終えてしまうこともあった。 ▲自分の考えを書くということがなかなかできなかった。授業の中で振り返りの時間を確保することが課題である。 ⇒自分の考えを言語化することや友だちの考えに触れ、自分の考えを広げたりする学習を意識して設定することができた。授業の振り返りの時間の確保が課題である。来年度は、「わかる・できる」を実感できる授業づくりのためにふりかえり位置づけ研究していく。
つながげ	一人ひとりが追究し、学習したことをふり返る	一人ひとりが見通しを持って追究ができるように、ねらいを明確にした授業を心がけ、学習の振り返りを終末場面に位置づけることができたか。		○			○予想を言葉にする場面を多く設定した。生活経験などを活かし、予想の元となる根拠を書いたり発表させたりした。友だちの話を聞いて意見が揺れたり、自分の考えを改めてしっかりと言語化したりして、自分なりにイメージを膨らませる様子が多く見られた。 ○一人ひとりが自分の考えがもてるように時間をとることを意識した。 ○友だちと考えを共有する場面を取り入れるようにしてきた。友だちと一緒に考えることで考えの幅を広げたり、深めたりすることができた。 ○最後まで話を聞くことを大切にして日々の生活や授業を行ってきた。学習の振り返りを終末場面に位置付けるようにしていたが、毎回はずれず、終えてしまうこともあった。 ▲自分の考えを書くということがなかなかできなかった。授業の中で振り返りの時間を確保することが課題である。 ⇒自分の考えを言語化することや友だちの考えに触れ、自分の考えを広げたりする学習を意識して設定することができた。授業の振り返りの時間の確保が課題である。来年度は、「わかる・できる」を実感できる授業づくりのためにふりかえり位置づけ研究していく。
	つながげ 心をこめた明るく元気なあいさつ	日常的な声かけや児童会活動により、あいさつのよさを自覚させながら、積極的にあいさつをしようとするよう働きかけたか。		○			○トラブルがあったときには、双方の話を聞き、互いにフィードバックする時間を設けた。 ○朝の会の健康観察を大切に行い、一人ひとりの名前を呼びながら、返事の仕方も扱った。また、クラスみんなで友だちの様子や欠席者を確認し、友だちを意識し、友達とのかかわりを感じるようにした。歌をうたったり、体を動かしたりしながら、友達とかかわる時間をもてた。 ▲あいさつはできる子とできない子の差が明確になってきている。本人は行っているつもりでも、
つながげ	ひびく歌声	全校音楽、学年音楽、音楽会で歌う時間を設け、子どもたちが共に声を合わせて歌うよさや楽しさを感じるようにしたか。		○			○トラブルがあったときには、双方の話を聞き、互いにフィードバックする時間を設けた。 ○朝の会の健康観察を大切に行い、一人ひとりの名前を呼びながら、返事の仕方も扱った。また、クラスみんなで友だちの様子や欠席者を確認し、友だちを意識し、友達とのかかわりを感じるようにした。歌をうたったり、体を動かしたりしながら、友達とかかわる時間をもてた。 ▲あいさつはできる子とできない子の差が明確になってきている。本人は行っているつもりでも、

よ う	相手の気持ちに近づいた考えや思いやりのある行動	自分や友達のよさを大切にするよう、日常の様々な事象をもとに、子どもたちに考え行動するよう働きかけたか。		○			相手に伝わるようなあいさつができていたかを考えさせたい。これからも、相手を意識した行動を考えられるように働きかけたい。 ⇒児童会活動や先生方からの声掛けは継続して行えた。さらに積極的にあいさつできるようにするために、教職員自らが率先して挨拶をするともあいさつのよさを感じられる指導について考えたい。
	外で元気に体を動かす	外へ出て元気に体を動かすよう、遊び時間や朝活動などで運動時間を確保しているか。	○				○時間を守って授業を始める、終わることを心がけ、実施できた。 ○休み時間には、担任も一緒になって校庭や体育館で遊ぶように心がけていた。
	食育を通して、給食をバランス良く味わって食べる	食育を通し、自校給食のよさや感謝を持ち、子どもたちがそれぞれの食べられる量の中でバランス良く味わって食べるよう工夫したか。		○			○時間割を確認しながら、できるだけ外へ出かける機会を設定した。 ○通年にわたり、チャイム前に着席し授業をスタートすることができた。
	規則正しい生活	教師も子どもも授業開始や授業の終了時刻などを守るようにしたか。	○				○時間を意識して授業や活動に取り組むことができた。給食の時間では、献立を最初に読み上げ、給食や食材に意識が向けられるようにした。自分の食べる量を知り、自分で調整することができるようになった。 ⇒「授業開始・終了時刻などを守る」の項目は評価が上がった。職員も時刻を意識して取り組むことができた。
	共に鍛える	全校体育、運動会を通して、なかまとの喜びや達成感を得させることができたか。(「自己評価カード」で振り返りを行う。)		○			
基礎学力の定着	スモールステップ学習やドリル学習の継続など、基礎事項の定着を行っていたか。		○				
生徒指導	安心・安全な学校生活	学校のきまりやマナーを守って生活するように働きかけたか。		○			○生徒指導や安全面で心配な姿が見られた際は、すぐに全職員で共有し、対応することができた。 ○粘り強く声をかけ続けた ○きまりやマナーの大切さを、道徳や生活の中で話をしてきた。子ども同士で声をかける姿が出てきた。 ○職員も児童もきまりを守り生活しよう意識することができた。 ○個人としてのルール、集団としてのルールを明確にししながら、なぜその決まりがあるのかを考えてから行動するようにした。 ⇒そのきまりがなぜあるのか理由を考えたり、理解させたりしてルールを守ることを意識させたい。人から言われるのではなく、自分の中にルールを守る理由を持てるようにしたい。
	心を込めた掃除	「もくもくタイム」を通して、心を込めた掃除を行い、学校や教室の環境整備ができたか。		○			○子どもたちと一緒に床を拭いた。真っ黒になった雑巾を見せ合い、互いにたたえあった。 ○掃除前に黙想をしてから掃除を始めた。心を落ち着かせることで意欲的な姿につながった。 ○班ごとにめあてを立てて、ふり返りをするように指導をし、意識して取り組めた。 ○自分の分担をはっきりさせ、目標を決めて取り組むことができた。 ○常に掃除をする意義を意識して取り組むよう声掛けをしてきた。意識して取り組める子が多くなった。 ⇒1年生は、6年生が雑巾のかけ方を丁寧に直接教えてくれたことで、より意欲をもって取り組むことができるようになった。「もくもく」ということを意識して取り組んでいきたい。
学校運営	保護者との連携	家庭学習の充実	家庭学習の習慣化や学習内容の定着・意欲の向上を図る働きかけができたか。		○		○細かなことも連絡を取り合って対応できた。学校での様子や家庭での様子を共有することができた。
	PTAやボランティアとの連携	学校はPTAやボランティアとの連携を行っているか。		○			○家庭学習はほとんどの児童が取り組めた。個に合わせて合理的配慮も行った。 ○必要に応じて連絡をしたり、学級だよりで様子を知らせたりする等、発信をしてきた。 ○クラスの実態に応じて、どのような研修を必要とするか考え、児童理解を深めることができた。また非違行為防止についても考え、日々の生活の中で念頭に置いて過ごした。 ⇒引き続き、児童理解を深めるとともに非違行為根絶に向けて全職員で取り組んでいきたい。
	児童理解・非違行為防止研修	児童理解・非違行為防止等の研修を行い、自己研鑽に努めたか。		○			